

Yes Peace!  
へいわ

Tokyo Peace Film Festival  
for youth

地球平和公共ネットワークシンポジウム2005 No.2 合同イベント

海外若者映画 For youth

『あなたが戦地に行く前に』

マスメディアが伝えにくい本当の話

開催日2005年11月26日(土) 10時開場 / 10時半開始

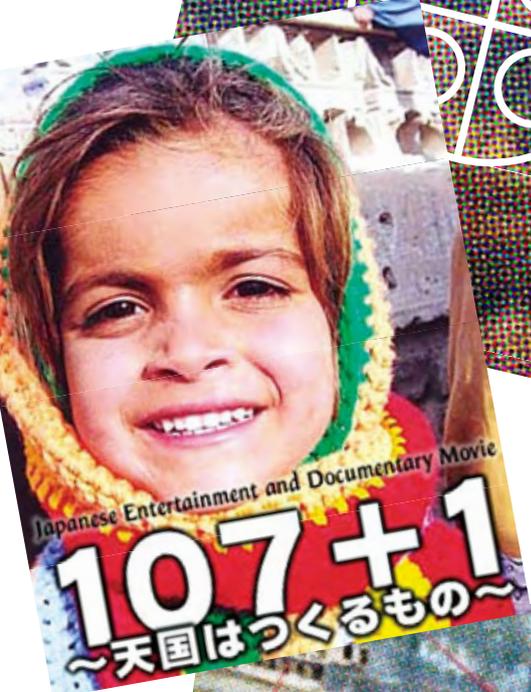
会場：発明会館 (350名) 東京都港区虎ノ門二丁目九-十四 Tel 03-3502-5499

【アクセス】 地下鉄銀座線「虎ノ門」駅3番出口より徒歩5分・地下鉄丸ノ内線、千代田線、日比谷線「霞ヶ関」駅A13番出口徒歩13分  
チケット：前売券2000円 学割1000円 (10月22日よりチケットぴあにて発売開始！) Pコード：551-695 当日券2500円 学割1300円  
主催●東京ピースフィルム倶楽部 協力●地球平和公共ネットワーク 後援●地球新聞  
お問い合わせ●事務局/担当：浅野 TEL 090-14459-13020 FAX 0479-1621122 e-mail: info@peacefilm.net

東京原発



ホピの予言  
2004年版



107+1  
~天国は作るもの~



戦争中毒

911 ボーイングを捜せ

## 上映作品

●12:20~13:20の間はランチタイムとなります。

●10:30~開演の挨拶

### ◆「ホピの予言2004年版」

<<http://www.h6.dion.ne.jp/~hopiland/>>

宮田 雪監督作品 10:40~12:20

アメリカ南西部、フォー・コーナース。コロラド高原といわれる荒涼たる砂漠と、グランド・キャニオンなどの巨大な渓谷に囲まれたここは、長い間、いわゆる西洋近代から隔絶した空間であり、そこに住むホピやナバホ・インディアンたちによって、聖地として守られてきた土地であった。古代からの予言を保ち続けてきた伝統派のホピの人々は、このような文明が、母なる地球を被爆させ、その呼吸を困難に追い込んでいくのだ、という認識にいま立っている。ホピ、それは「平和で満ち足りた人々」という意味であり、グレート・スピリットの教えに従ってその道を行く人々という意味でもある。

### ◆「東京原発」

<<http://www.bsr.jp/genpatsu/main.htm>>

山川 元監督作品 13:20~15:10

都知事暴走! 都庁核爆発!? 首都壊滅! いま、日本滅亡へのカウントダウンが始まった!! 原子力発電の危険性、深刻な電力事情、低迷する経済、迷走する政治、貧窮にあえぐ地方自治、そして未来を見失った若者たち…、現代日本が今、正に抱えている様々な問題を満載し、一級の芝居で贈る戦慄のパニック・サスペンス・エンタテインメント! あまりに過激な内容と大胆な表現のため一般公開が危ぶまれていた衝撃の問題作、身近にせまるリアルな恐怖と猛毒の笑いで、日本列島を震撼させるブルトニウム爆弾級のインパクトが遂にその全貌を現す!

### ◆「ピースフィルムメドレー」

<<http://www.peace2001.org/>>

映像ときくちゆみによる解説 15:25~16:55

<映像内容>米軍のアフガニスタン攻撃の映像/「戦争中毒」予告編/「テロリストは誰?」より抜粋した映像/「911ボーイングを捜せ」ダイジェスト版/ファルージャの映像/「9-NINE-憲法9条は訴える」より「戦争のつくり方」など(多少変更の可能性があります)

### ◇「ピース・トーク」

ゲスト: 星川 淳、田中 優 17:00~18:00

~休憩15分~

### ◆「107+1天国はつくるもの」

<<http://tentsuku.com/>>

軌保博光監督作品 18:15~20:22

この映画を見た人が「感動した、よかった」だけではなく、「実際に自分も動こう。動けば必ず変わるんだから」と前向きに、元気に、ハッピーになれちゃう作品にしようと、監督てんつくマンはじめ、日本全国から集まった“結いまる隊”約100人が、沖縄を舞台に3つの作戦(挑戦)を企てる。どれも一人の力ではできないものばかり。でも、みんなの力が合わされば必ずできる!と、汗と涙と笑いの中、決してあきらめることなく実際に挑戦した“結いまる隊”の現実の物語(ドキュメンタリー)。

◎当日多少の上映時間の変動がある可能性がありますので、ご了解下さい。

## 「スピリチュアリティと平和」のシンポジウム ~こころと世界をつなぐムーブメント~

環境、戦争・テロ、貧困など、社会の不安が高まる中で、スピリチュアリティに関心をもつ若い人が増えていますこの流れを平和への希望に結びつけることはできないでしょうか? さまざまな立場の研究者・実践者をお招きし、スピリチュアリティの意義を探ることで、新しい平和の動きを創っていきたくと思います。「東京平和映画祭 for Youth」に出演の星川淳さん、辰巳玲子さん、きくちゆみさんにも話して頂きます。

日時: 2005年11月27日(日) 開場13:00 開演13:30~20:00終了予定

会場: 全国教育文化会館エデュカス東京7階大会議室(東京都千代田区2番地12-1 TEL: 03-5210-3511)

◆参加費: 前売券1,000円 学生800円(当日券1,500円 学生1,200円)

プログラム(出演者・順不同・敬称略)

<第1部>「公共的霊性と地球的平和」について稲垣久和(東京基督教大学、キリスト教哲学)、島菌進(東京大学、宗教学)、斉藤謙次(新日本宗教団体連合会事務局長、宗教学)、吉田収(東洋大学・宗教学) コーディネーター: 小林 正弥(千葉大学・公共哲学) <第2部>「スピリチュアルな平和の実践」について星川淳(翻訳家)、辰巳玲子(ランド・アンド・ライフ・映画「ホピの予言」事務局)、山川亜希子(翻訳家)、比嘉良丸(沖縄神人[カミンチュウ]巡礼主催者)、コーディネーター: 上村雄彦(JJプロジェクト) <第3部>「対話と交流」~ショートスピーチ~小林一郎(みどりのテーブル共同代表)、鬼丸昌也(テラ・ルネッサンス) きくちゆみ(グローバル・ピース・キャンペーン)、石橋行受(日本山妙法寺)

■主催: 地球平和公共ネットワーク URL: <http://global-peace-pjpublic-network.hp.infoseek.co.jp/index-j.html>

■協力: 東京ピースフィルム倶楽部 URL: <http://www.peacefilm.net/>

■問い合わせ: 地球平和公共ネットワーク(千葉大学公共哲学センター内) Tel/Fax: 043-290-3028

## 『さらば戦争! 映画祭 —人間が始めたものは人間がやめればよい—』

日時: 11月19日(土) 13:00開場 21:30まで

場所: 明治大学駿河台キャンパスリバティタワー1022教室 (MAP: <http://academy.meiji.jp/ccs/top/newmap.html>)

■「乳泉村の子」<監督 謝晋 1991年> ■「HELLFIRE 劫火-ヒロシマからの旅-」<監督 (ジャン・ユンカーマン) 1988年> ■「日本鬼子(リーベンクイズ)」<監督 松井稔 2001年>

日時: 11月20日(日) 10:30開場 20:30まで

場所: 発明会館ホール (MAP: <http://www.bekkoame.ne.jp/ha/id25154/page003.html>)

■「あんによん・サヨナラ」<監督 金兌鏡(キム・ティル) 2005年> ■「にがい涙の大地から」<監督 海南友子2004年> ■「パッチギ!」<監督 井筒和幸 2004年>

★1日何本みても一律 ¥1500 です★

■「さらば戦争! 映画祭」実行委員会 共催 ■明治大学軍縮平和研究所 連絡先: 実行委員会事務局 TEL 03-5312-4827 e-mail: [info@eigasai-60.com](mailto:info@eigasai-60.com)